

市民がつくる
市民が学ぶ
市民が拓く
生涯学習情報誌

Stage

月刊ステージ・アップ

up

'96

3

月号【1日発行】

「ステージ・アップ読者のつどい」に150人
参加者全員が「思い」話しあう



いまを話す

吉川英治文学新人賞受賞 小嵐九八郎さん
ムシヨ暮らしが私を変えた！
下積みの人へ温かな視線

Stage Up 3月号もくじ/1995年

◆「Stage Up 読者のつどい」に150人

参加者全員が「思い」話し合う

□ほんねインタビュー いまを話す

吉川英治文学新人賞受賞 小嵐九八郎さん

ムシヨ暮らしが私を変えた!

下積みの人へ温かな視線

◇はりきってます グループ紹介

楽しい老年期を模索する

木洩れ日の会(宮前区)

心身とも健康に

向ヶ丘婦人スイミング・クラブ(多摩区)

●学習・文化情報/会員募集/小誌配布場所

●ミニニュース/編集後記

○当事業団の「資格支援講座」受講生募集

◎表紙絵………生田緑地に咲く梅

(小誌は再生紙を使用しています)

7小中学校で校庭の夜間開放

スポーツ・レクリエーションの場として地域の方々に夜間、校庭を開放します

- 期 間 平成8年4月1日から12月20日まで
 利用時間 平日、土曜、休日の午後6時から9時まで
 (学校や、市の行事などがある日は利用できません)
 種 目 サッカー、テニス、ソフトボール、地域行事など
 対 象 市内の青年団体、市内在住在勤の成人グループなど
 申し込み 次の日時と会場で受け付けます。

開放校	受付日	時間	受け付け会場	受け付け担当
臨 港 中	利用前月の 第1土曜日	13:30	教育文化会館	当事業団河原町分室 ☎ 541-2038
塚 越 中		14:30	(川崎駅からバス)	
東住吉小	(6月使用分は) 第2土曜の 5月11日	14:30	中小企業婦人会館	当事業団小杉分室 ☎ 422-3932
久 本 小		13:30	(武蔵小杉駅1分)	
菅 生 中		13:30	菅生分館	当事業団本部 ☎ 952-5000
南生田中		15:30	当事業団(新百合ヶ丘	
麻 生 小	15:30	駅前新百合21ビル内)		

※ 菅生分館までの交通、そのほか問い合わせは各担当へ

ステージ・アップ
読者のつどい開く

市民150人が主役、聞き入る高橋市長

すべての人間、動植物との共生を

テーブルに花、手づくりケーキ、思い、共にし「また開いて」

すべての人たちと、多くの動植物と、共生できる川崎を
—— 第一回「Stage Up」読者のつどい（同つどい
呼びかけ人会議主催―飯田和子代表）が二月五日、麻生区
の新百合21ホールであり、百五十人の参加者全員が、ほん



温かなムードの中で開かれた「読者のつどい」。テーブル懇談では参加者全員が発言（左端は高橋市長）

ねで話し合い思いをともにした。また「人間の未来のための核としての『ステージ・アップ』を期待する」との声もあった。さらにゲストの高橋清市長がナマの声に耳を傾け、聞き手に回る場面の多い「読者が主役」のつどいだった。

「花が飾られ、手作りのお菓子があり、いまを話すのゲストのお話を聴いて、文化の華が一面に咲いた感じ」（小島一也・市議会議長のあいさつ）の会場は和やかな雰囲気。

司会の丸山博子さんが開会を告げ、主催者を代表して飯田和子さん（川崎・ゴミを考える市民連絡会）が「生涯学習情報誌の『いまを話す』を読み、ゲストの生き方、主張に感銘を受けた」と述べ、つどいが①五周年記念②いまを話すのゲスト対面③読者同士が思いを共有する―目的で開くことを明確にし「私も、同誌で話す機会があったが、多くの方が同誌を愛読され

ていることを身を持って体験した」とあいさつした。「いまを話す」ゲストのスピーチは、地球家族の会代表の千葉茂樹さん▽オランダウータン研究家の鈴木晃さん（代理）▽多摩区の緑と水を考える会の酒井博さん▽神奈川県骨髄移植を考える会川崎支部代表の高橋眞知子さんの四人。四人の共通意識は「共生」。食しい人々と、動物と、緑と、難病患者と、いかに共に生きる事ができるか。

ピアノ演奏の中、参加した主婦有志が持ち寄ったカップにコーヒークリームが注がれ、手作りのケーキという温まるひとときの後は、テーブルごとの懇談。各人の話

から学ぶ姿勢で話しあわれ「再び話しあいましよう」と連絡先を決めたテーブルも。参加者全員が何かを話し「お客様」（発言しない人のいない集いになった。

聞き役だった高橋清・市長は、つどいを高く評価し「一人ひとりの意見を吸収することが民主主義の基本。学習・勉強の基本は読む・書く。それをするこ

と、自分の考えを表現でき、まとめることが出来る。いじめも児童、生徒が自分の生き方をまとめる習慣を身に付けなければなくなる」と述べた後、皆様のお話はよく分かる。しかし、異なった意見もあり、行政として（総合的に判断して）やや違った結論になることもある」と話した。

閉会のあいさつは、前かわさき市民アカデミー友の会会長の岡本善三さん。

「ステージ・アップとステージ・アップ読者のつどいは不滅ですと言いたい」と長嶋巨人軍監督が選手引退の際の言葉とからめて、明るく締めくくった。

いまを話す

ゲスト

吉川英治文学新人賞受賞

小嵐 九八郎さん

Vol. 42

ムシヨ暮らしが私を変えた！
下積みの人へ温かな視線

昨年、「刑務所ものがたり」(文藝春秋)で、吉川英治文学新人賞を受賞した小嵐九八郎さん(51)は川崎育ち。現在、川崎南町を舞台に連載小説を執筆中である。「今も男女の古い絆があり、人間としてのめり込む何かがある町」と話し、工場労働者のパワーにも魅せられている。作家デビューは八年前。今春出版した「遙かなる啄木一握りの殺意」(青樹社)が三十冊目。かつて過激派セクトに属し、ムシヨ暮らし五年間は「生涯、ネタに苦しめない経験」という。「老いと死」を直視する年齢になり、「人生の蓄積、残りの人生への執念がある中高年のほうが創作活動で優れた作品を生み出す可能性大」と言い切る。インタビューは椎野和枝さん。

「昨年は「刑務所ものがたり」(文藝春秋)で吉川英治文学新人賞を受賞され、四年続けて直木賞候補になられた小嵐さんにお会いできて光栄です。洞察力が鋭い方なので怖さも感じています。」

小嵐さん 今年は(直木賞)候補に挙がりませんで、受賞作は僕が書いたものより迫力があつたと思いますね(笑顔で)。

「小説を書く動機、目的はなんですか。また、小嵐さんにとって賞の意味合いは……。」

小嵐さん 動機は金儲けです。

文学と賞は正反対の位置にあると思っています。

「受賞は少ないのですが、単行本だけで三十冊もの優れた作品をお書きになっていますから、そう言えるのでしょうか。」

小嵐さん いやー、内心は複雑ですよ。小説家はうそをつくことが職業ですから(心底から笑う)。

「作家になられたきっかけは。」

小嵐さん お金がなくて、仕方なくです。高い志なんか全然ないんです(真顔で)。

「(戸惑いながら)でも多様なテーマを取り上げていますね。」

小嵐さん 僕はエンターテイナーだから何でも書きます。冒険小説でも地方の話でも。編集者と話し合い、意見が一致すれば取材して書くというパターンです。

「ところで、川崎への特別な思いがあつて「川崎南町物語」(廣済堂出版)を書かれたのですか。」

小嵐さん 僕は七歳の時に川崎に引っ越して来て、中学も高校も川崎で川崎南部のことはよく知っているつもりです。町工場、競馬場、競輪場、野球場もこよなく愛しています。

「一九五〇年代、少年のころ

ロマンある川崎南町が好き

性差別問題 背景に愛の抽象化、性の突出

の川崎は、どんな街でしたか。

小嵐さん まだ田んぼや小川もありましたね。当時は労働者のまぢ、庶民的なまちで、とにかく活気がありました。売春防止法ができる前の南町は、おしろいを塗った女が両方からぱーつと来る。パワーがありました。

——おしろいを塗った女と街の活気・パワーとどう結び付くので



すか(首を傾けて)。

小嵐さん 京浜工業地帯に出稼ぎにきた労働者階級の不満を抑えるために遊郭を作った。しかし、そこに遊びにくる労働者が、女の子に感情移入とかパワー移入をしていた側面もあったと思うのです。日本国家が敗戦から立ち直っていく過程での(極めて貧しかったころ)、労働者と女の子が意識を反映しあい、まち全体が活気があったということですよ。

——構造的に女性の性の商品化が公然と行われてきたわけですが。

小嵐さん 女性は長い間抑圧されてきた。いまの日本国憲法で男女平等になっても、なかなかしみわたらない。戦前戦後の女性運動は華々しかったけれど、足のない運動だと、とらえた方がいいと思います。現実の女性の方がワツと前に出ていますよ。

——女性差別問題が分かっている方でない、そういう評価はで

きません。それは小説の中でも感じます。

小嵐さん 本当に難しい問題です。「性的対象として見るから好きになる」という考え方が、新しい人間関係は、両性をつぶしたところに立てるしかない」という意見があります。愛の中に愛が入ったりして、(両論の)現実性が失われ、あいまいになっている気がします。愛が抽象化され、性が突出して面



もありますしね。

——ところで、最近の川崎南町の印象はいかがですか。

小嵐さん 今でも庶民的な活力、住民自体の力はあると思います。けれど、まちは東京・横浜化してますね。駅前はずいぶん綺麗になり過ぎて、住みにくい町になっちゃった。長い間、ここで育った人間にしてみればね。ここ数年、川崎駅のそばでは飲まないんです。南町や八

小嵐 九八郎 さん

こあらし・くはちろう=1944年、秋田県生まれ。7歳の時、川崎に転居。68年、早稲田大学政経学部卒業後、団体役員、歌人、漫画原作者を経て88年、作家としてデビュー。92年、「鉄塔の泣く街」(実業之日本社)で直木賞候補となり以後、四年続けて候補に。95年、「刑務所ものがたり」(文藝春秋)で吉川英治文学新人賞に。執筆のかたわら、カルチャースクールの講師や講演なども。住まいは、川崎区渡田山王町。妻、二女の4人家族。

丁暖駅あたりで飲んでいます。

——南町の飲み屋街には、まだ人間臭さが残っていると。

小嵐さん ええ。だから小説になりやすい、ロマンになる。地下街アゼリアではロマンは生み出せませんよ(楽しそうに)。

——小説の中のなにげない会話や文から、小嵐さんの下積みの人や底辺の人への温かさ、人の苦しみへの思いやりを感じます。

小嵐さん そうであれば「人間の目をもったコミュニケーション」を僕が持つてからでしょう。けれど、人の苦しみが分からないなあ。自

「おらホの選挙」は議員監視 当選後の身勝手許さぬ

分の苦しみはよく分かるけど(豪快に笑う)。

——小嵐さんの作品は、いわゆる「ブランド小説」と異なり、本当に人間臭さのする小説ですね。



小嵐さん それは、僕が刑務所

に入っていたからでしょう。(さらに)。刑務所は社会の縮図で、全体が底辺だから縮図が極端なのです。官には弱いし中で序列がつく。政治犯が威張ってヤクザ、シヤブ(麻薬)、盗人がいる。そうした人間に軽蔑されている対女性犯(婦女暴行)もいる。政治犯を官がうまく利用している。

——刑務所に入れられた理由は。小嵐さん 学生運動をして公務

執行妨害で捕まり、地方公務員を三年やった後、ある組織の専従をしていたとき、その部屋から拳銃が出て、全部で五年ぐらい(刑務所に)入っていました。

——あのころは日本全体が揺れ、学生運動も過激でした。刑務所暮らしは苦しいものでしょうね。

小嵐さん いや、非常に楽しかったですよ。「革命は必ず勝つ」という幻想に酔っていたのだから。困ったのは女房が僕の思想についてこれなくて、神経の病になり、それで「俺の生き方はちよつとおかしいのかな」と。いま思えば、間違った方法論を一生懸命やっていたので。

——その経験が、小説を書くベースになったようですね。

小嵐さん 生涯、ネタに苦しまない経験をしましたね。

——今後、書きたいテーマは。小嵐さん もう一度、南町を書きたい。あそこには古い絆の男と

女がいるし、性を商品化しながら、それだけに終わらない(人間として)のめり込む何かがある。その背景に、人間のパワーがどうなっているのか。また、工場で働き、モノを作る人間の活気に注目し、そこを凝縮して書くつもりです。「川崎南町物語」の続編みたいなものです。

——他都市から見ると、川崎は革新的に映るようですが。

小嵐さん 革新だから市民社会が進んでいるとは限らない。保守的で政治的に遅れていた地方から新しいエネルギーが生まれる場合もあるのです。日本の「三大八百長選挙」として有名な東北の青森、津軽地方は選挙が生活と密着し、お祭り化しています。

——九三年、直木賞候補になった「おらホの選挙」(講談社)の舞台になったところですね。

小嵐さん ええ。極端に言えば、



椎野和枝さん

椎野 和枝さん
しいの・かずえ=1934年、京都市に生まれ、同志社教育、毛利菊枝演劇研究所卒、NHK婦人学級世話人、広島女性史研究会を経て80年から川崎に住み、「女性の学習情報をつなぐ会」、東洋大学特別研究会「21世紀の女性」、川崎「ぶらす1」に所属。共著は「山陽路の女たち」「テキスト現代女性読本」。麻生区白山在住。

議員は「国民の付託を受けたのだから」と勝手気ままにやりますよね。この地方は、議員を監視し堂々と縛り付けているのです。最も遅れているように最も進んでいる。小選挙区制的エネルギーをつぶすパワーを持っている。これまでは「よし」とされてきたことが、方法論的にも危ないところにかけている。川崎もそうです。工業がはびこり、自然をつぶしていく。今後、モノを造ることが文明を牽引していく力になるのかどうか。二〇世紀だから通用したのでは……。

——川崎の住民パワーは今後、どこへ向かうのでしょうか。

小嵐さん 市民がじかにアジアを視野に入れることから始まる気がします。桜本(川崎区)にコリアン街が本当にできるのか、在日韓国・朝鮮人の人たちがつくつ

ていけるのか。行政がかかわるのは当然ですが、主体がどうなるのか。また、コリーヤン街をつくる過程の苦しみ、喜びがどうなるのか、注目しています。

——いまのお話で、小説の中の一生懸命生きている人間の姿を思い出しました。印象的ですね。

小嵐さん あれは一つの手法です。一生懸命生きた人間の方が感動的だからね(照れる)。なぜ小説を読むのか、昔は教養を高めるために読んでいたと思うのです。今は、他人の生き方がどうなのか、その面白さの中で自分の生き方について取り込んでいくか、という読み方です。僕はそういう人物像を描き続けたいと思っています。

——小嵐さんの「きちんと生きたい。きちんと生きて、きちんと酒を飲みたい」という言葉、いいですね。

小嵐さん 小説家はうそつきと言ったでしょ。僕がいい加減な生

遥かなる啄木 一握の殺意

小嵐九八郎

Komashi Kubachira



小嵐文学の30冊目となった「遥かなる啄木 一握の殺意」は知的推理小説

き方をしてきたので……。

——カルチャーセンターで「小説の読み方、書き方」講座を受けて持っておられるそうですね。

小嵐さん ええ、三年になりました。受講生は二十代と六十代前後の人が半々ですが、中年の方のほうが優秀ですよ。出版界では「新人賞は若い人がいい」という風潮だけど、七十代で直木賞候補にな

った作家もいます。モノをつくる、書くを通して生の確認をする、これが非常に大事です。ただ、言語的な物忘れが出ます。僕も「あと一、二年で終わりがかな」と……。登場人物の言葉が出てこない。だから非常に悩み「老いと死」についても考えさせられます。

——小嵐さんが小説を書き始めたのは四十代でしたね。

小嵐さん 夏目漱石も松本清張も四十代からです。僕が四十四歳で新人賞をとったとき、本賞をとった二十代の女性とは、年齢的にはだいぶ差が付いていました。しかし、生き方の蓄積の差、残りの

人生できちつとした何かが残せるかの構えの差では僕のほうが勝っていると思ったのです(真剣な表情で)。

——確かにそうですね。

小嵐さん 言葉^{ことば}を忘れる中高校に似合わない言語文化でさえ、その中高校が進めているのです。絵は八十代からうまくなる作家もいます。そう考えると人生の蓄積、あるいは、残りの人生への執念を含めて、中高校の可能性のほうが大きいとみています。

——元氣の出るお話ですね。創作活動をしている人、これからする人にアドバイスを。

小嵐さん 小説を書く場合、最も自分に引き寄せたことを書いて、それを最も愛している人に見ても、それが最も大事です。作家同士だと、必要以上にけなしますから。最も愛している人に見せて興奮させる。この喜びは掛け替えのないものですからね。

——お疲れのところ、ありがとうございました。

題字は高橋清・川崎市市長

構成／野々川千恵子

文責／田中 閑

創作は中高年向き

青年より勝る

生活の蓄積、人生への執念

はりきってます グループ紹介

仲間と楽しむ
学ぶ
活動する
お祝いする。



クレナイ族は嫌！ ボランティア 幅広い活動と奉仕

日本人の平均寿命は年々伸びて、周子代表(58)ら六十五人は体操今や老年期は二、三十年にもなる。や料理、ボランティアとさまざまその時を、健康で楽しく過ごさせる。な活動をしている。

よつにと「木洩れ日の会」 加藤 この日は、宮前区社会福祉協議

楽しい老年期を模索する

木洩れ日の会 (宮前区)

会との協力で年六回開く一人べらしのお年寄りを招いての昼食会。宮前市民館の料理室では、準備に追われる会員が朝から忙しく駆け回る。調理台に、さつま芋や小松菜がうずたかく積まれ、白板の前では、分量や手順など最後の打ち合わせに大きな声がとぶ。

献立は、里芋の鳥挽き肉あんかけとあじのフライ。それに酢のものときんぴらごぼう、さつま芋羊かん。お年寄りと会員合わせて六十八食分を作るため、作業は数人ずつのグループに分かれて行う。手早く野菜を洗い、皮をむく。

あじに衣を付け、一方でだし汁を煮立てる。お年寄りが食べやすいよう、お芋は一口大に、きんぴらは「できるだけ細めがいいわね」と気を配る。ご飯も少し柔らかめ。楽しそうにおしゃべりしながら

も、次々と料理ができ上がる。その手際の良さはさすがにベテラン主婦。厚めにむいたさつま芋の皮を油で揚げ、はし休めの一品にする。ことにもぬかりはない。

一時間半ほどで、上品な松花堂弁当が完成。お年寄りの待つ部屋へと運ばれた。

同会は一九八四年、やがて迎え

る老後を「…が…してくれない」と嘆く「老クレナイ族」にはなりたくないと考えた仲間が発足。高齢者の意見を聞こうと新聞を発行し、手配することから始めた。やがて「私たちも勉強を…」とお年寄りが入会。三十代から八十八歳という幅広い年齢層に広がった。

会は、月一回の例会のほか、特技や趣味を生かし担当を決めての活動がある。栄養講座、体操教室、保健所のリハビリ教室の手伝いなど、会員から提案があれば、なんでも実行してみる。家にひきこもっている暇はない。

菊地フミ子さん(83)は「受け身より、たとえ笑顔だけでも与えることは素晴らしい」と活躍する。志賀美知子さん(44)は「先輩から学ぶことがあり。あのようにキレイに年を重ねたい」とこの日も栄養士の腕を存分に発揮する。

代表の加藤さんは「ボランティアはつまりは自分の楽しみ。お年寄りも誘い合つてどんどん参加してほしいですね」と明るく笑う。

同代表宅は、宮前区土橋一の九の三。☎(854)4475。

文／小誌・熊野史子
カメラ／小誌・山本綾子

はりきってます グループ紹介

心身とも健康に

——向ヶ丘婦人スイミング・クラブ

体力の維持や肩こり、腰痛に著しい効果がある水泳。体に負担を掛けず全身運動になるので、中年にも理想的だ。「向ヶ丘婦人スイミング・クラブ」の岡川壽子代表（62）ら六十人は、毎週火曜の午後、専修大学生田校舎総合体育館プールで「気持ちガリフレッシュし、心身とも健やかになる」泳ぎを満喫している。

準備体操とストレッチを念入りにした後、プールに入り水中で跳びはね、バタ足をして筋肉や関節をほぐす。そして、会員のレベルに合わせて、四つのコースに分かれて泳ぐ。コーチは、日本体育協会公認スポーツ指導者の資格を持つ四人の会員。

泳力に自信のある会員は、コーチが作ったプログラムに基づき、二十五分コースの往復をくり返す。水しぶきをあげクロールで泳ぐ人腕を大きくかき平泳ぎをする人。平均年齢五十歳の主婦には見えない

い軽やかさ。「無理をしないでゆっくり泳いで」と黒田真理コーチらの声。「きょうは距離が短く感じるわ」と会員同士のささやきも。約

楽しく無理せず...
4会員が公認コーチ



一時間の中で自由形、平泳ぎ、背泳ぎ、バタフライの四種目約千二百泳を楽しんだ。

初級コースでは、クロールと背泳ぎの基本練習。背泳ぎの腕の働き方を学ぶため、手の動作だけで泳ぐ。板倉さえ子サブコーチが、会員と並行して泳ぎ、プールサイドでは田島弘美コーチが適切な助言をする。

体調がすぐれない人やリハビリ目的の人は、各人のペースで泳げる「自由コース」がある。

「安全第一」の同クラブは、専修大学のサークル「サーフ・ライフセービング・クラブ」レスキュー活動に監視を依頼し、会員の病歴、体質を記した健康チェック表を作っている。

同会の誕生は八年前の九月。

「専修大学スポーツ実践公開講座」に応募し、定員オーバーで受講出来なかった女性が集まり結成。カナツチだった会員も、体育の日の「川崎市民マスタース水泳大会」にエントリーするまでになった。本徳克子さん（51）は「泳いだ後のさわやかさは格別。今の体力を維持したい」と笑顔。

腰痛の木暮志津子さん（40）は「その日の体調で泳げ安全です」とにっこり。

コーチで代表の岡川さんは「会員は、水泳が体にいけば良いことを実感しています。市が公認プールを造ってほしい」と話す。

同代表宅は、宮前区菅生二の六の三。☎（077）83351。

文／小誌・山本綾子
カメラ／小誌・熊野史子

仲間と楽しむ 学び 活動する 生き生きと。

講座・講演

〔市民大学講座〕暮らし

と水◆市産業振興会館〕3月22日(金)13時半から。

水の性質▽安全でおいしい水道水を作るため浄水場でやっていること▽水の循環サイクルにおける排水処理の必要性、役割を考える。

講師はNKKエンジニアリング研究所の小段範久・室長ほか。無料。定員先着80人。申し込みは☎(322)6076のNKK技術開発本部技術企画部管理室(主催)の榎本さん。

〔民俗講座〕現代人と宗教◆市市民ミュージアム〕

3月9〜23日の毎週土曜14時から、全3回。宗教と靈性をめぐって」と題し武蔵丘短大の鎌田東二さんが講演。受講料千五百円。定員50人。申し込みは☎(754)4500の同所。

〔1〕シンビジウムの育て方講習会〔2〕緑の教室◆市緑

化センター〕①は4月2日(火)13時半から。無料。定員30人(抽選)②は5月

8日〜来年4月2日の原則として毎月第一水曜13時から。園芸について基礎知識の講義と実習。対象は市内在住者。受講料は年間4千円、教材費は別。定員40人(抽選)。申し込みは①3月22日(金)までに往復はがき(1人1枚)に講習会

名、住所、氏名、電話番号を記し〒214多摩区宿河原6の14の1、同センター②は4月10日(水)13時半、同センターに集合。問い合わせは☎(911)2177の同所。

〔社交ダンス集中教室◆川崎市民プラザ〕3月21日(木)〜28日(木)10時から全7回(26日を除く)。ブルース、ルンバ、ワルツを基礎から指導。対象は初級者。講師は佐々木勇美さん、馬場美智子さん。受講料1万円。定員は男女各20人。申し込みは受講料を添え3

月17日(日)までに同プラザ☎(888)3131へ直接。梶が谷駅下車。

〔フラワーデザイン壁飾り講習会〕パントマイム講師の保育付き◆幸文化センター〕3月26日(火)10時から。年間飾れる花材で作品を作る。講師は堀内真弓・横浜市女性協会指導講師

パントマイム講師は徳永ゆり江さん。保育対象は5歳以上。費用は材料費を含み千五百円。保育料は1人5百円。定員先着20人。申し込みは☎(322)5677の矢野さん。フラワーデザイン研究会主催。

〔健康作りと日本舞踊◆登戸ドレスメーカー学院〕3月27日(水)18時から。礼儀作法、着物の着付け、身のこなし方から日本文化を見つめ直す。講師は藤間勤七孝・古典芸能研究家。受講料千円。足袋、あれば浴衣持参。申し込みは午前中☎(911)2221の同学院。向ヶ丘遊園駅下車。

〔土曜特別講座①英語②中国語③エスペラント語◆桜美林大学外国語センター〕

いずれも4月6日〜7月27日の土曜。①②13時半から、全15回③10時半から、全12回。①は入門コース▽成人コース▽TOEFL受験準備。受講料は入門が1万5千円、他は3万円。②は入門クラス▽初級クラス▽中級クラス▽上級クラス。受講料は各クラス3万円。③は1クラス。受講料1万5千円。いずれも講師は同大学の外国人語学教育専門家。定員は各先着20人。申し込みは4月1日(月)〜6日、

(土)9時半〜15時(6日は12時まで)に受講料を添え同センター☎0427(97)2661へ直接。

JR淵野辺駅からバス。〔福祉講座〕最近の補聴器のいろいろ◆市中部身体障害者福祉会館〕3月23日(土)10時から。講師は市更生相談所の小出和生さん。無料。申し込みは☎(73

3)9675の同館。〔1〕天文教室〔2〕発明教室◆市青少年科学館〕①は5月12日(日)16時半からで、小学4〜6年が対象▽19日(日)17時半からは、中学生が対象。いずれも毎月1回日曜、全11回。天体観測工作をする。年会費千円。定員先着各30人②は4月21日から毎月2回日曜の9時から、全24回。紙、木工の工作をする。対象は小学4年〜中学生。定員先着40人。いずれも継続参加の出来る人。申し込みは①4月9日(火)②3日(水)9時から☎(922)4731の同館。

〔麻生区文化協会巷談会〕時報物語◆麻生市民館〕3月23日(土)14時から。空襲▽BGM▽学校チャイム▽音楽と数学▽手作り楽器について、楽音雑学者の加藤一雄さんが話す。無料。問い合わせは☎(951)1300の同館内、同文化協会。

3)9675の同館。〔1〕天文教室〔2〕発明教室◆市青少年科学館〕①は5月12日(日)16時半からで、小学4〜6年が対象▽19日(日)17時半からは、中学生が対象。いずれも毎月1回日曜、全11回。天体観測工作をする。年会費千円。定員先着各30人②は4月21日から毎月2回日曜の9時から、全24回。紙、木工の工作をする。対象は小学4年〜中学生。定員先着40人。いずれも継続参加の出来る人。申し込みは①4月9日(火)②3日(水)9時から☎(922)4731の同館。

〔麻生区文化協会巷談会〕時報物語◆麻生市民館〕3月23日(土)14時から。空襲▽BGM▽学校チャイム▽音楽と数学▽手作り楽器について、楽音雑学者の加藤一雄さんが話す。無料。問い合わせは☎(951)1300の同館内、同文化協会。

3)9675の同館。〔1〕天文教室〔2〕発明教室◆市青少年科学館〕①は5月12日(日)16時半からで、小学4〜6年が対象▽19日(日)17時半からは、中学生が対象。いずれも毎月1回日曜、全11回。天体観測工作をする。年会費千円。定員先着各30人②は4月21日から毎月2回日曜の9時から、全24回。紙、木工の工作をする。対象は小学4年〜中学生。定員先着40人。いずれも継続参加の出来る人。申し込みは①4月9日(火)②3日(水)9時から☎(922)4731の同館。

学習・文化情報

探していた講座がある

学習・文化情報

参加したい催しがある

催し



「①あやちゃんの贈り物展②骨髄バンク・ネル展◆川崎駅アゼリア地下街ギャラリー」他①は3月5日(火)〜14日(木)、同所▽5日(火)〜10日(日)10時〜19時、アートガーデンかわさき。あやちゃん(三瓶彩子)は3歳になる直前、白血病を発症、骨髄移植を果たせず7歳9カ月の生涯を閉じた。あやちゃんが病魔と闘いながら描いた明る

「生き方を考える」生物学からの発想◆県立川崎青少年会館「3月16日(土)14時から」ゾウの時間ネズミの時間」で知られるNHK人間大学講師の本川達雄・東京工業大教授が講演。対象は成人。無料。定員先着百人。申し込みは☎(222)5282の同館。

技術とくらしの4本柱で32講座。日程は春期5月7日(火)〜7月19日(金)▽秋期9月17日(火)〜12月13日(金)。いずれも週1回百分、各期10回。夜間講座あり。受講料は9千〜3万円。定員12〜30人。申し込みは3月18日(月)〜4月13日(土)講座案内に添付の申し込み用紙を郵送。講座案内、募集要項は☎044(988)1433の同大学開放係。会場は鶴川駅前。

く夢のある絵を展示。②は3月1日(金)〜7日(木)9〜17時。会場は川崎信用金庫本店。いずれも無料。問い合わせは☎(945)1396の高橋真知子さん。神奈川骨髄移植を考える会・川崎支部主催。会場はJR川崎駅下車。

「①宇宙環境利用スペースリアル実験②わくわく実験教室◆東芝科学館」①は3月15日(金)10時と13時半から。宇宙環境利用技術の現状や微小重力利用の実験を中心に紹介。講師は



東芝の鈴木脩一・宇宙プログラム開発担当主幹②は3月9日(土)10時と13時から。同館オリジナル器材を使って体験実習。対象は小学生以上。いずれも無料。定員各250人。申し込みは☎(549)2200の同館。川崎駅下車。

「高校生ワークキャンプ」社会福祉施設体験学習◆川崎授産学園「3月26日(火)13時から27日(水)12時まで。園生とふれあい、障害者への理解を深める」写真。対象は市内在住の高校生。参加費3千円。定員先着20人。申し込みは☎(233)1907の市社会福祉協議会。

「映画上映会「フォレスト・ガンプ」◆川崎マリエン」3月31日(日)14時から。95年度アカデミー賞6部門受賞の大ヒット作を上映。トム・ハンクス主演。無料。定員は当日先着3百人。問い合わせは☎(287)6009の川崎港振興協会(主催)振興課。JR川崎駅からバス。

「①市川昭トクシヨウ②高校生とのふれあいお茶会◆麻生老人福祉センター」①は3月14日(木)13時半から「涙の連絡船」さざんかの宿」の作曲家、市川さんの話。対象は市内在住者。無料。定員先着2百人②は3月21日(木)13時半から。対象は市内在住60歳以上の方。定員先着60人。いずれも申し込みは☎(966)1549の同所。

「ファミリアフェスティバル」春の人形劇まつり◆県立高津青少年会館「3月24日(日)14時開演。対象は3歳以上の親子。定員百人。申し込みは☎(844)2101の同館。

「春休みこども講座◆県

立高津青少年会館」3月27日(水)10時から、作って遊ぼう。対象は小学1〜3年生。定員20人▽28日(木)10時から、ふしぎな工作。対象は小学4〜6年生。定員10人▽29日(金)13時半から、音の出るクラフト。対象は小学1〜3年生。定員20人。いずれも無料、材料費は実費。申し込みは☎(844)2101の同館。

「①市民天体観望会②天体写真撮影会◆市青少年科学館」①は3月16日(土)18時から。金星、星雲、星団を観望。雨、曇りはプラネタリウムで星の話②は4月28日(日)19時から。月(月齢11日)を撮影。対象は小学5年以上。定員14人。フィルム、一眼レフカメラ持参。雨、曇り中止。いずれも無料。小学生以下ま保護者同伴。申し込みは①参加自由②3月19日(火)9時から☎(922)4731の同館。

「野鳥クラブ◆大師河原」4月13日(土)から毎月1回、土曜か日曜9時半から、全12回。13日は市青少年科

学習・文化情報

楽しいスポーツがある

学館に集合。初心者向け野鳥観察。対象は小学4年以上で継続参加の出来る人。通信費880円。筆記具、双眼鏡持参。申し込みは4月2日(火)9時から☎(922)4731の同館。

「ミニ観察会◆生田緑地」

3月23日(土)4月14日(日)は野鳥入門。8時50分、同緑地東口駐車場集合▽3月24日(日)は地層。13時20分、市青少年科学館集合▽4月6日(土)は植物。13時50分、同館集合。

筆記具、ルーペ、双眼鏡、図鑑持参。雨天決行。事前申し込み不要。問い合わせは☎(922)4731の同館。

「子供ののび広場◆県立川崎青少年会館」3月9日(土)14時から、ギター▽9、23日の土曜10時から卓球、遊び、囲碁・将棋。対象は小学〜高校生。無料。定員各10人。卓球はラケット、室内靴持参。申し込みは☎(222)5282の同館。

「福祉用具展〜トイレ介助◆福祉バカルわさき」3

月15日(金)〜17日(日)10時から。障害者、体の不自由なお年寄りの自立、介助に必要な自助具、介護用品、日常用品を展示。脳卒中後のリハビリと暮らし▽痴呆の方のおもしろしへの対応など日替わりテーマでミニ講演。個別相談あり。無料。問い合わせは☎(246)5500の川崎区社会福祉協議会。会場はJR川崎駅下車、パレール住宅棟3階。

「①生涯学習交流会②外国人市民スピーチ大会◆麻生市民館」いずれも3月16日(土)①は10時から、同館の様々なサークル活動を各グループの会員が紹介、利用者を交え話しあう。助言者に西村美東士・昭和音大助教。軽食付き②は13時半から、同館の「日本語クラス」受講者のフィリピン、デンマーク、アメリカ人が日本文化や習慣の違いなど、日ごろ感じていたことを話す。いずれも無料。申し込みは☎(951)300の同館。

「麻生区地域セミナー」

まちはミュージアムパートII◆麻生区役所ロビー他」3月11日(月)〜19日(火)8時半から同所。麻生区の自然、歴史、文化遺跡の写真、マップを展示▽20日(祝)14時から麻生市民館。

スポーツ

「スポーツデー◆川崎市とどろきアリーナ」スポーツで心身のリフレッシュをしませんか。①エアロビクス。火曜午前・夜、木曜夜金曜午前②リフレッシュ体操。水曜午前③バスケットボール。水曜夜④卓球。金曜午後・夜⑤バドミントン。金曜午後・夜⑥トランポリン。金曜午後。午前は9〜12時、午後は13〜16時、夜は17〜20時です。①②はインストラクターが付き、時間が多量異なります。☎(798)5000 武蔵小杉駅からバス。

「武道練習◆石川記念武道館」次の曜日に武道ができます。いずれも有段者の指導が受けられます(夜間

同セミナー一年間の活動報告や市環境保全局職員の見点を交えて、まちを歩こう〜かわさきの遊歩道」と題する講演。無料。申し込みは19日までに同館へ直接。☎(951)1300。



の指導は20時10分まで)①なぎなた。火曜14〜16時半、土曜15〜17時半②女性剣道。火曜10〜12時半③剣道。火曜④柔道。火・木・土曜⑤空手道 写真。土曜⑥合気道。火・土曜⑦少林寺拳法。木・土曜③〜⑦は18〜20時半。対象は小学生以上。毎回施設利用料大人百円、子供50円が必要。☎(544)0493 川崎駅からバス。

ステージ

「シャガールの傑作版画展記念プロムナードコンサート◆市民ミュージアム」3月17日(日)▽20日(祝)14時から。出演は太田恭子(ピアノ)中瀬千央(同)丸山朋文(チェロ)三亀亮典(フルート)ら若手音楽家。曲目はラベル「ダフニスとクロエ」▽グラズノフ「吟遊詩人のうた」▽ウェーバー「フルート、チェロ、ピアノのための三重奏曲ト短調」他。シャガール展の入場料が必要。問い合わせは☎(754)4500の同所・中川さん。

「横山幸雄ピアノ・リサイタル」史上最年少のショパンコンクール第3位入賞◆「花ホール」3月19日(火)19時開演。曲目はベートーヴェン「ソナタ第23番「熱情」」▽ラフマニノフ「前奏曲集より」▽シヨパン「ポロネーズ第5番嬰へ短調」「スケルツォ第3番嬰ハ短調」ほか。入場料4千円。問い合わせは☎(812)

学習・文化情報

みたい絵画がある

6090の同所。溝ノ口駅下車。
 「糞金曜寄席◆ギャラリ」
 糞 3月15日(金) 19時開演。出演は林家錦平。入場料は飲み物付き千500円。問い合わせは☎(812) 6090の同所。溝ノ口駅下車。

「人形と仮面の無言劇」
 「狼の王」◆エポックなかはら 3月9日(土) 13時半開演。インド南部の野生猿群の世代交代の話。生きることの素晴らしさ、悲しさを訴える。写真。出演は、ろう者と聴者の共演で現代人形劇を追求するデフ・パベットシアター・ひとみ。



入場料は全席自由で前売り千500円、当日千800円。問い合わせは平日9〜17時に☎(922) 6628の川崎きた作業所・大友さん。県・市精神障害者地域作業所連絡協議会主催。
 「トラや帽子店コンサート◆エポックなかはら」 4月6日(土) 14時半開演。「ひらけボンキッキ」の歌など幼稚園、保育園で大人気の愉快な曲を演奏。入場料は全席自由、大人子供同一で前売り2千300円、当日2千800円。問い合わせは☎(945) 2833の有北さん。ままとんきつず主催。
 「蘭妖子」桜暗黒方丈記」◆市市民ミュージアム」 3月9日(土) 18時半開演。寺山修司の詩に「天井桧敷」で音楽を担当したJ・A・シーザー作曲の歌をドラマチックに絶唱。蘭さんは、「天井桧敷」の代表的女優。料金2千円。定員3百人。申し込みは9時半から☎(754) 4500の同所。
 「高津市民オーケストラ定期演奏会◆エポックなかはら」 3月3日(日) 14時から。曲目はチャイコフスキー「白鳥の湖」▽シューベルト「ロザムンデ序曲」▽ベートーヴェン「交響曲第一番」。指揮は末永隆一。入場料は全席自由500円。問い合わせは☎(811) 6381の南さん。
 「幸ピピュラーミュージックコンサート◆文化センター」 3月23日(土) 13時半開演。日本の叙情歌からクラシック、ポップスの名曲ばかりを演奏。出演は上柴はじめ(ピアノ)▽西山健治(トロンボーン)▽草刈とも子(マリンバ)。無料。定員は当日先着150

人。同コンサートは、市民ボランティアの協力でお年寄り、体の不自由な方などの鑑賞を支援。問い合わせは☎(541) 3910の幸市民館。
 「中村正義の美術館」 3月1日(金) 4月7日(日)「中村正義常設(おいしいところだけ)展」正義の代表作を中心に40点を展示。入館料一般500円、学生300円、小中200円。月曜休館。☎(953) 4936 読売ランド前駅からバス。
 「麻生市民ギャラリー」 3月15日(金) 20日(水)「しゃらく麻生写真展覧会」身の回りの自然の美しさを映像で表現。新百合ヶ丘駅下車、麻生市民館内。月曜休館。問い合わせは☎(966) 9184の篠原。
 「ギャラリ―華沙里」 3月5日(火)まで「清原司都子展」▽3月7日(木) 19日(火)「楊鋼粮油絵展」▽3月21日(木) 4月2

ギャラリ―

日(火)「若尾和呂遺作展」☎(954) 2333 新百合ヶ丘駅下車。
 「新百合21ビル1階ギャラリ―」 3月22日(金) 4月1日(月)「こども造形クラブ第2回展覧会」。新百合ヶ丘駅下車。問い合わせは☎(854) 5821の田代。
 「ギャラリ―幸」 3月8日(金) 13日(水)「近隣作家展」商店のおかみさんなど近所の人々の絵画・工芸・写真ほかを集めて。▽3月15日(金) 20日(水)「仏像・仏画展」心洗われる一時をどうぞ。☎(555) 8181 川崎駅下車。
 「画廊ランブ屋」 3月末まで「版画・水彩画・バステル画常設展」火曜休館。☎(945) 4416 稲田堤駅下車。
 「ギャラリ―アート・ヨシムラ」常設の新スペース「アニメーションアートギャラリ― エドム」オープン。ディズニー公認ギャラリ―としてディズニーのセル画、版画をはじめ、スヌーピーなどのさまざまな

学習・文化情報

参加したいグループがある

アニメーションアートを展示。本物のセル画の美しさをお楽しみください。(965)3-136 新百合ヶ丘駅下車。エルミロード内。
 「川崎市市民ミュージアム」4月7日(日)まで
 「愛する人々への熱いメッセージ」シャガールの傑作版画展「シャガールの代表的版画作品『千一夜物語』」

からの4話」より「写真」など2百70点を展示。▽3月10日(日)14時から、美術評論家瀬木慎一講演会「シャガール絵画の魅力」。同展開連コンサート有り。ステージ欄参照。観覧料一般700円、小中高大生300円。☎(754)4500
 〓武蔵小杉駅からバス。



会員募集



●北川流語りの会話芸写
 《中原区新丸子750、伊藤真弓代表》演劇色の濃い語りで芸術祭にも参加している俳優北川智繪がせりふ、ナレーション、読み聞かせ

などを基礎から指導。年2回のライブ開催。語りに興味のある方ならどなたでも音響、照明、作家、作曲、美術などスタッフに興味のある方も。中原区新丸子のけいこ場ほかで。問い合わせは☎(7-1)8032の話芸写。

●フラワーデザイン研究会
 《川崎区渡田1の7の13、堀内方、大矢奈穂子代表》基本から楽しく学んでいます。第1、3火曜午前、中原の富士通交流センターで。会費月2千500円(材料費別)入会金3千円。問い合わせは☎(322)5677の大矢まで。

小誌は、市内2百カ所で
 毎月1日配布しています
 ご愛読を感謝いたします

小誌は、川崎信用金庫の本店と市内の全支店・出張所計40カ所、横浜銀行の市内全支店18カ所、各区役所・支所・出張所、各市民館・分館、各図書館、各保健所、各社会福祉協議会と次の所で配布しています。
 「川崎区」さいか屋川崎店▽ヌマヤ川崎店▽住友銀行川崎支店▽神奈川県労働金庫川崎南支店・川崎支店

▽JR川崎駅▽市立川崎病院▽太田総合病院▽東京電力川崎支社▽有隣堂川崎BE店・アゼリア店▽当事業団情報コーナー(教育文化会館1階)▽県立川崎図書館▽市立体育館▽青少年センター▽市役所市民相談室▽労働会館内労働資料室▽ヨネッティー堤根▽サンライフ川崎▽浮島町公園▽川崎マリエン▽川崎行政サービスコーナー▽南部公園事務所▽川崎愛泉ホーム▽かわさき情報プラザ▽パン工房「パバゲーン」▽ライフハウス「JAZZびあにしも」
 「幸区」石川記念武道館▽幸スポーツセンター▽産業振興会館▽県立勤労女性会館
 「中原区」神奈川県労働金庫中原支店▽市立井田病院▽市民ミュージアム▽エポックなかはら▽中小企業婦人会館▽総合自治会館▽会館とどろき▽フードハウス大野屋小杉店・住吉店・中原店▽国際交流センター▽小杉行政サービスコーナー▽公文書館▽中原郵便局

▽中部公園事務所
 「高津区」さくら銀行溝口支店▽東京電力高津営業所▽川崎市民プラザ▽イトーヨーカドー溝口店▽溝口郵便局▽大山街道ふるさと館▽西部公園事務所
 「宮前区」住友銀行宮崎台支店▽聖マリアンナ医科大病院▽青少年の家
 「多摩区」JR登戸駅▽東京電力生田営業所▽画廊ランブ屋▽登戸ドレスメーカー学院▽日本民家園▽青少年科学館▽青少年創作センター▽フルーツパーク▽緑化センター▽北部公園事務所▽フードハウス大野屋長尾店
 「麻生区」住友銀行新百合ヶ丘支店▽さくら銀行柿生支店▽神奈川県労働金庫新百合ヶ丘支店▽つつみ歯科新百合ヶ丘▽ホワイト急便金程店▽有隣堂新百合ヶ丘店▽麻生スポーツセンター▽福祉バルあさお▽川崎新都心情報センター▽ヨネッティー王禅寺▽黒川青少年野外活動センター▽ゆりすとア百合丘本店・柿生店・三井店▽東柿生郵便局

ミニニュース

ビデオ「教えられ
なかつた戦争」

ドキュメンタル映画「教えられなかつた戦争」フイリピン編」の自主上映会が昨年12月2日、新百合ヶ丘の日本映画学校で開かれた。

「戦争への道を許さない」女たちの会川崎」の丸山マサ子さん、恵田綾子さんらが上映実行委員会を作り、同映画音声担当の栗林豊彦さんと共に実施したもの。

映画は、東南アジアにおいて、第二次世界大戦中の日本軍の残虐な行爲と、戦後日本経済の発展の陰で、どれだけの傷を負わせているか、数字や証言を交えて記録したもの。

正視できないほどむごい映像や、目の前で弟妹を殺された女性の生々しい話に、目頭をおさえる人もいた。

また、木を伐採され丸裸になった原生林の無残な姿、貿易港建設のため軍隊に破壊し尽くされた街など、今

まさに「戦争中」のような映像は胸をえぐる。

同会では同映画のビデオを貸し出している。連絡は☎(055)1448の丸山さん(K)。

心に溶け込む歌声の
早瀬一洋リサイタル

「ひかりの村」建設のためのチャリティーコンサート「早瀬一洋テノール・リサイタル」がこのほど、エポックなかはらであった。

早瀬さんの賛美歌は、聖書の言葉がすべての人の心に溶け込むような柔らかい響きで、聴衆を魅了させた。

中原区の民間福祉施設「ひかりの家」(古沢妙代表)が計画している高齢者と障害者が共生する「村」づくりの支援で、ピアノ伴奏は中島慶子さん、賛助出演が、ゆりがおが児童合唱団(山田榮子指揮)。市教委、当事業団ほか後援(Y)。

親近感深めた若手

音楽家の演奏会

溝ノ口駅近くの「ホテルKSP」のラウンジ・フオ

ーラムで、このほど、サロンコンサートがあった。

川崎の地域で活躍している若い音楽家15人と「メンネルコール高津」の男性メンバーが出演。ピアノ、弦楽器、声楽のソロに、即興演奏もあつた。出演者の中には、曲の解説やエピソードをユーモアを交えて話す人もいて和やかなムード。

会場にステージがなく、演奏者と客席が親近感を深めた。また、若者たちの躍動的な演奏は、聴衆に今後の活躍を期待させた。主催は川崎音楽文化連盟(Y)。

公文書館の休館日
月曜日に変更へ

市公文書館の休館日が4月1日(月)から月曜に変更する。

同館では、市政情報が閲覧できる他、昨年から古文書講座を開講。違った視点から川崎の歴史が分かりおもしろい」と市民から好評だという。

同館は☎(733)3933。武蔵小杉駅からバス。

編集後記

公的資金
(税金)導入
による住宅金融
融専門会社
(住専)の処
理問題で、お
となしい国民

が珍しく怒っている▼この数年間の政治は、売上税・消費税から始まって小選挙区制、PKO(国連の平和維持活動)・PKF(国連の平和維持軍)、そして今回の住専問題の公約違反、国会答弁撤回のオンパレード▼「仏の顔も三度」という譬えがあるが、主権在民をいつからこんなにコケにするようになったのか▼国会の先生方は、公約とは「公衆に対して或る事(政策など)を約束すること。また、その約束」||広辞苑||であることを存じないのか、約束は破るためにあると思っている▼もしかして、公約を「膏薬」と間違え、障子などの破れを膏薬を貼ったようにつくろい、その場しのぎの処置||広辞苑||にきゅうきゅうとしているのかも▼政治家は「人の噂も

七十五日」の譬えなら「国民の怒りも七十五日」とタカをくくっているのだらう▼今号の「いまを話す」のゲスト、小嵐九八郎さんが「議員は「国民の付託を受けたのだから」と当選後、勝手気ままなことをする」と言っているが本当だ▼かつての常識が非常識になり、非常識が常識になる世の中になったのか▼住専問題にしても、もとはバブル▼株投機をマネーゲームといい、庶民にハイリスク・ハイリターンの常識を忘れさせた▼地価高騰で庶民にマイホームをあきらめさせ、その結果、地価が下がったのは当たり前▼非常識がいつまでも通用すると思っていた「やから」に、お灸をすえるのではなく、救済するのは非常識極まりない▼しかし、地域で常識が通用するのは救いで、市民と地方自治体が程よい緊張関係を保ちつつ連帯することが大事だろう▼行政が徹底した情報公開を行い、市民が具体的に提案することがその前提と思うのだが。

借りるコツ、あります。

あなたのプランにピッタリのローンはどれですか？



借りやすいこと。



だんぜん低利でワイドな使いみち。

カーライフローン

資産が活きる多目的な大型ローン。

生き活きローン

一枚で多彩に使えるカードローン。

マイプラン

家計に負担をかけずに学資づくり。

教育ローン

返しやすいこと。

★お問い合わせ・ご相談は、お近くの神奈川県労働金庫<ろうきん>へどうぞ。

川崎支店 ☎ 044 (244) 8331

中原支店 ☎ 044 (733) 0161

川崎南支店 ☎ 044 (277) 8211

新百合丘支店 ☎ 044 (989) 1111

資格取得支援講座

受講生募集

会場=当事業団研修室

(小田急線新百合ヶ丘駅北口新百合21ビル内)

～資格取得に挑戦するあなたを応援します～

講座名	実施期間・曜日・時間	定員	受講料 教材費	申込期間
消費生活アドバイザー 資格試験準備セミナー	4/4～9/19 毎週木曜 全23回、58時間 13時半～16時	50人	3万円 3万円	受付中 10時～17時
行政書士 資格試験準備セミナー	4/6～9/21 毎週土曜 全20回、60時間 9時半～12時半	50人	3万円 2万円	受付中 10時～17時
宅建取引主任者 資格試験準備セミナー	4/20～10/12 毎週土曜 全21回、63時間 13時半～16時半	50人	3万5千円 1万円	3/4～6 10時～17時
社会保険労務士 答案練習講座	5/18～7/14 毎週土曜 全7回、15時間 18時半～20時	50人	1万5千円 4千5百円	3/18～21 10時～17時
TOEIC 初級 TOEIC 中級 対策セミナー	5/11～10/5 毎週土曜 全15回 初級10時半～12時半 30時間 中級13時半～15時半	各 25人	2万円 6千円	3/25～27 10時～17時

※定員を超えた場合は抽選、達しない場合は申込期間後も受け付けます

申し込み・問い合わせは ☎ (952) 5000の(財)川崎市生涯学習振興事業団

発行

(財)川崎市生涯学習振興事業団
電話 044(952)5000代

〒215 川崎市麻生区万福寺の二の二、新百合21ビル
FAX 044(952)1350 編集人・田中 園